

## 新文化会館整備の今後の進め方について

新文化会館の建設について特別委員会においても合意形成が図られたのち、以下の考え方に基づき追加で今後の進め方について協議を行った。

**(新文化会館整備の今後の考え方)**

- ▶ 長期視点にたち、文化会館を将来にわたり市民利用のみならず日常的に利用される施設とするため、観光誘客や産業振興、地域交流に資する機能との複合化を検討していく。
- ▶ 整備地や整備規模の選定にあたっては、複合化する付帯施設の内容が大きく影響することから、まずは、付帯施設の検討を進めていきたい。
  - ➔ 既定予算を活用し、「新文化会館施設整備基礎調査業務委託」を実施

**(委託内容) 新文化会館に適合する複合施設の提案**

- ・ 全国の先進事例、将来人口動態に基づく検証
- ・ 地域特性、課題の把握
- ・ 施設の規模、概算費用、必要な敷地面積の推計
- ・ 関連法令の整理
- ・ 事業方式、運用形態（民営、指定管理、直営等）の提示

## ◎ 特別委員会委員からの主な意見

- ▶ 中央公民館のあり方についても新文化会館の建設と同時に検討する必要がある。
- ▶ 新文化会館が完成した時に「あの施設（機能）を組み込んでおけばよかった」とならないよう、取りこぼしのない精査をお願いしたい。
- ▶ 公共施設マネジメントを進めているように、先々老朽化等で問題になると思われる施設を把握し、それらの施設と出来る限りすり合わせを行い、必要な施設を新文化会館に組み込んでいくなどの検討もお願いしたい。
- ▶ 近年の社会情勢の変化による人件費や資材価格の高騰、長期的な管理運営費などの財政面での課題にも注視されたい。
- ▶ パブリックコメント実施のタイミングなど、具体的スケジュールについては市民の混乱が生じないよう十分に精査されたい。

まずは、令和5年2月を目途に複合施設の選定や整備に関する基本的な考え方を整理し、求める機能や規模等具体的な事項については、令和5年度に基本構想を策定する中で整理していきたい。